

令和3年度 決算報告書  
(第18期)

国立大学法人鳥取大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	11,275	11,004	△271	(注 1)
施設整備費補助金	825	822	△3	(注 2)
補助金等収入	134	1,521	1,386	(注 3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	34	34	-	
自己収入	27,510	29,438	1,928	
授業料、入学料及び検定料収入	3,544	3,350	△194	(注 4)
附属病院収入	23,478	25,487	2,009	(注 5)
雑収入	486	600	113	(注 6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,531	2,103	571	(注 7)
引当金取崩	16	30	13	(注 8)
長期借入金	484	470	△13	(注 9)
目的積立金取崩	716	1,796	1,080	(注 10)
計	42,529	47,222	4,692	
支出				
業務費	39,153	41,072	1,919	
教育研究経費	15,106	16,279	1,172	(注 11)
診療経費	24,047	24,793	746	(注 12)
施設整備費	1,344	1,327	△17	(注 13)
補助金等	134	1,307	1,172	(注 14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,531	1,868	336	(注 15)
長期借入金償還金	364	460	95	(注 16)
計	42,529	46,037	3,507	
収入－支出	-	1,185	1,185	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算額には業務達成基準が適用されて繰越予定の金額が含まれているため、予算金額に比して決算金額が271百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業計画が変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が3百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算額に計上していなかった補助金の受入により予算金額に比して決算金額が1,386百万円多額となっています。  
また、授業料等減免費交付金が213百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として予算額に補助金等収入に計上している授業料等減免費交付金を含んでいることから、予算金額に比して決算金額が194百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、主として高額医療費の増加による増収により、予算金額に比して決算金額が2,009百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として特許権等実施料収入の増加により予算金額に比して決算金額が113百万円多額となっています。
- (注7) 予算段階では予定していなかった民間等からの受託研究等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が571百万円多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、附属病院特定任期付職員の退職者数の増加により、予算金額に比して決算金額が13百万円多額となっています。
- (注9) 長期借入金については、事業計画の変更による借入額の減少により、予算金額に比して決算金額が13百万円少額となっています。
- (注10) 目的積立金取崩については、事業計画が変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が1,080百万円多額となっています。
- (注11) 教育研究経費については、(注10)に示した理由等により、執行額も増加したために予算金額に比して決算金額が1,172百万円多額となっています。

- (注12) 診療経費については、(注5)に示した理由等により、執行額も増加したために予算金額に比して決算金額が746百万円多額となっています。
- (注13) (注2)及び(注9)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が17百万円少額となっています。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,172百万円多額となっています。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由等により、執行額も増加したために予算金額に比して決算金額が336百万円多額となっています。
- (注16) 長期借入金については、償還計画の変更により予算金額に比して決算金額が95百万円多額となっています。

○決算額と損益計算書上の計上額との差異について

教育研究経費、診療経費の決算額と損益計算書上の計上額との差の主なものは、固定資産取得に関わる支出であります。